

第1回学校運営協議会 会議録

令和7年6月12日（木）13時30分～15時

（1）開会のことば

（2）学校運営協議会設置通知書交付及び委員委嘱状交付 教育委員会（特別支援教育・児童生徒支援課課長補佐）より

（3）校長あいさつ

本会は昨年度まで学校評議委員会として組織されてきたものを発展的解消とし、今年度から学校運営協議会として設置されたものである。コミュニティスクールとしての役割を担う本校の課題解決のために、地域、医療、福祉、保護者のそれぞれの立場から様々な意見等をいただき、より良い学校を目指していきたい。

（4）要綱説明 資料「山梨県立甲府支援学校 学校運営協議会の運営等に関する要綱」参照

（5）運営協議会会長等選出

会長、副会長 選出 → 承認

（6）会長・副会長あいさつ

この会がより良いものになるよう、すすめていきたい。

（7）自己紹介

（8）協議

①学校運営について（校長より）

資料 P7～「令和7年度山梨県立甲府支援学校グランドデザイン」

P8～「令和7年度本校の現状と課題」について説明

○質疑応答

・教育課程について個別に編成というのは、学校としてどのようにされているのか？

→本校はⅠ～Ⅳコースの教育課程を基本に設定している。個々に合わせて個別に編成している。

・訪問学級について詳しく教えてほしい。

→今年度16名在籍：在宅は4名となっている。

・児童生徒数が増加しているのはなぜか？

→学校として分析したわけではないが、考えられることとして、保護者の多様なニーズ、特別支援教育に対する理解が広がり浸透してきた影響などがあるのではないかと捉えている。

・医ケア児の増加に関心を寄せている。普通の病院であっても看護師の確保は難しく、学校内での学校看護師の欠員についてはその大変さも理解できる場所である。どのように探しているのか？

→ハローワークで求人を募集している。会計年度職員としての採用のため、勤務時間に制限があるこ

とも勤務形態を複雑にさせている。非常勤ではなく正規で働いてもらえるよう、県に要望している。

- ・県内の大学病院には院内学級がある。市からは教員が、病院からも正規の看護師が業務にあたっている。県立の学校も同じようにできないものか。

→県立の特別支援学校も、医療現場に教員が出向いて授業を行っている。本校の訪問学級や病弱支援学校などもその例である。

- ・通学籍を選びたい子もいるが、困難さがある。訪問学級の授業回数が少ないと感じている。時間の制限もあり、増やせたらよいと思っている。看護師の定員の見直しも必要なのでは。特定行為のできる教員はいるのか？

→研修を受けている教員もいるが、保護者のニーズとして教員ではなく学校看護師にやってもらいたいという意見もある。

- ・医療的ケアに関する安全委員会は設置されているのか？

→定例で医ケア検討委員会を行っている。検討内容によって学校医や主治医などから助言をいただいている。

- ・学校卒業後の福祉とのつながりに協力していきたいと思っている。生徒たちの卒業後の就職先、受け入れ先はどのくらいあるのか知りたい。

→（学校要覧（P21）卒業生の動向参照）病弱の生徒も入学してきたこともあり、今後は進学も視野に入れた進路指導も必要になってくるのではと感じている。また、保護者のニーズも、入浴など生活面のサポートも支援してくれる生活介護の場を求めているなど、変化してきている。

本校の運営について、了承いただいた。

②学校評価について

資料 P12～R6 年度評価報告書

P13～R7 年度評価項目を考えて具体的方策を説明

③学校概要説明について

別紙「甲府支援学校の紹介」参照 ※次回は学校見学を予定している

④学校へのメッセージ （まだ発言されていない方から…）

- ・周辺地区は、学校施設が7校ある地区である（大学1，高校3，小学校1，支援学校2）。文化祭などの作品交流も盛んだが、交流に力を入れていきたいと考えている。ぜひ地域の行事への参加してもらえたらありがたい。
- ・親としては、安全安心な学校を1番に考えている。先生方の充実した気持ち子どもたちに返ってくると思っている。今後も保護者の目線で意見を述べていきたい。
- ・子どもの成長を感じ、先生方にはありがたく思っている。今不安に思っているのは、防犯防災についてのこと。開かれた学校でなければならないが、地域と連絡して守っていけるとよい。
- ・さらに医療的ケアの推進に取り組んでいてもらいたい。子どもたちの健康状態によって家庭の負担は大きく変化する。保護者を支えていく取り組みを考えてほしい。

（9）閉会のことば